

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	English C		
英文授業科目名	English C		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	電子工学科 システム工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>前期に引き続き、ビデオの映像を通して世界各地の興味深い話題に接し、読む・聴く・書く・話すの4技能を訓練するとともに、英語による自己表現力の向上を目指す。</p> <p>本テキストが取り上げる話題は、我々にも身近なボランティアやオリンピックから、テロ・貧困といった社会問題まで幅広い。その多くは賛否両論拮抗する話題であったり、またその問題解決に向け、様々なアイデアが想起できるものであろう。こうした世界各地の話題が提起する問題について、英語を通して理解し、考え、最終的に自分の考えを英語で適切に発信できるよう学習していく。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
Topics in International Society John S. Lander 著 (朝日出版社)

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各ユニットごとに概ね以下の項目を網羅して進める。

- ・VTRの内容が予習できるIntroductionの速読と主要な語彙・表現の確認
- ・ビデオ番組の視聴及び内容理解のための各種タスク
- ・ペアワークやグループディスカッションの場で意見交換し、その結果を英語で書いてまとめたり、グループで発表する。
- ・その他、各種新聞、雑誌、インターネット等から収集した関連資料の速読

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：以下の要素を総合的に評価する。

小テスト、課題（授業中に指示）の達成度、出席/授業への積極的参加、期末試験。

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とする。

- ・ビデオ番組の大意を字幕なしで把握できる。
- ・新聞、雑誌等の大意をあまり時間をかけずに的確に理解できる。
- ・平易な英語を使って、自分の伝えたい事を書き、話すことが出来る。
- ・決められた課題が全て受理されている。
- ・学期中3分の2以上の出席を満たす。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、授業の前後にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

皆さんの積極的な参加が不可欠の授業です。目と耳を総動員し、授業時間を十分活用して楽しく英語を学んで下さい。

【その他】